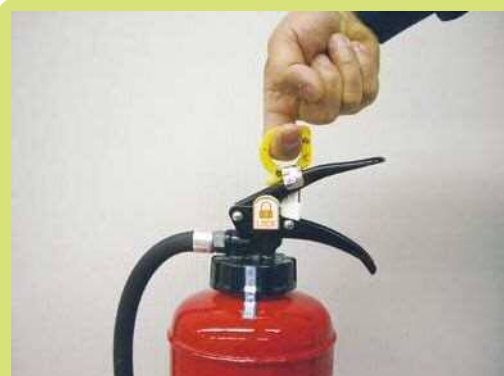
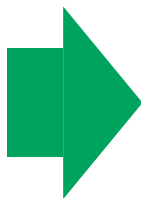


消火器



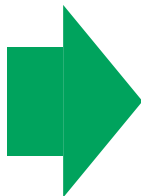
① 火元近くまで消火器を運ぶ



② 安全栓を抜く



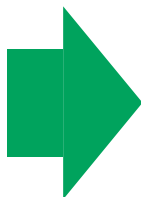
③ ホースを外す



④ ホースを火元に向ける



⑤ レバーを強くにぎる



⑥ 火元に向けて放射する

1. できるだけ3～4mまで近づいて放射しましょう。

2. 屋外の火災のときは、風上から放射しましょう。

3. 粉末消火器の場合、消火薬剤が燃焼物の中へ浸透しませんので、消火器使用後十分に水をかけて燃焼物の中に残る火種を完全に消火しましょう。

消火器はいろいろな火災に使えます

普通火災用
(A火災)



油火災用
(B火災)



電気火災用
(C火災)



消火器に貼付されているラベル

○ 普通火災

木材・紙・繊維類の
火災に有効

● 油 火 災

ガソリン・灯油・重油・石油ス
トープ・天ぷら油などの火災
に有効

● 電気火災

配電盤・変圧器・電気配線
などの電気火災に有効



チェックポイント

消火器

← 見やすい位置に
標識板をつける。



床面からの高さが
1.5m以下になる
ように設置する。

- 歩行距離が20m以下となるように配置してありますか。
- 通行、避難に支障がなく、容易に持ち出せる所に設置してありますか。
- 底部の腐食した消火器は、事故防止のため取り替えましょう。